

えいらい

No.62

令和 7 年 2 月発行
発行元／一般財団法人永頼会 松山市民病院

初春号
2025



〒790-0067
愛媛県松山市大手町 2 丁目 6-5
TEL / 089-943-1151
FAX / 089-947-0026
発行責任者／理事長 山本祐司
編集／松山市民病院広報委員会

今号のトピックス

- ◇年頭挨拶
- ◇臨床の現場から
- ◇永頼会設立60周年記念座談会
- ◇コーチングへの取り組み
- ◇連携医療機関の紹介
- ◇お知らせ



運営委員集合写真（1 列目左より：浅野事務長、小田原副院長、重見副院長、柚木院長、田中副院長、上岡看護部長、大塚院長補佐兼薬剤部長、2 列目左より：玉野医療事務部長、岡山臨床工学室長、高橋放射線技師長、平井リハビリテーション室長、和泉元臨床検査技師長、神野事務次長、西田総務部長）

年頭挨拶

—地域住民・職員に信頼と幸福をもたらす病院をめざす—



院長 柚木 茂

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。松山市民病院と連携、交流をいただいている医療機関・施設の皆様、そして地域住民の皆様には、日頃より多大なるご支援とご指導を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、年始早々の大地震に続き、復興が進む中で豪雨災害が発生するなど、試練の多い一年でした。それにもかかわらず、復興に向けて尽力される皆様の姿には、日本人の絆の強さを改めて感じ、心を打たれました。また、パリオリンピックや大谷翔平選手の輝かしい活躍など、多くの方々が希望と勇気を与えてくださった一年でもありました。

2025 年は、乙巳（きのとみ）の年にあたります。「巳」は脱皮を繰り返して成長する蛇を象徴し、新たな始まりや変化の兆しを示す干支と言われていいます。また、「乙」は若々しい芽吹きや成長を表し、次の飛躍に向けた準備の年とされます。私たちもこの象

意に倣い、現状にとどまることなく進化を続け、地域医療のさらなる安定と発展を目指したいと考えます。

昨年、一般財団法人永頼会は設立 60 周年を迎えました。「永頼会」という名称は、書経に記される「萬世永頼」に由来し、「未永く地域住民の皆様から頼りにされる存在であり続ける」という願いが込められています。設立の精神を胸に、これからも住民の皆様と職員に信頼される病院でありたいと思えます。

長年受け継がれてきた良さを残しつつ、進化を続けたいという思いから、今年の病院の目標を「地域住民・職員に信頼と幸福をもたらす病院をめざす」と掲げ、以下の 5 つの取り組みを進めてまいります。

1. 良質な医療の提供
2. 職場環境の改善
3. 健全な経営基盤の確立
4. 大規模災害に対する準備
5. 地域貢献

南海トラフ地震をはじめ、局所的豪雨や竜巻などの自然災害への備えは引き続き重要な課題です。また、救急車受け入れ台数の増加に対応し、急性期病院としての役割を果たすためには、医師、看護師、メディカルスタッフの確保が急務となります。患者さんに寄り添い、信頼される医療を提供することで、地域住民の皆様と職員が幸福を実感できる病院を目指して取り組んでまいります。

昨年 12 月には病院機能評価 Ver.3.2 の審査を受け、患者さんがより安心して安全な医療を受けられる病院整備を進めることができました。今後も「松山市民病院らしさ」を磨き、きめ細やかな対応を心がけることで、地域医療の発展に貢献していく所存です。

本年が皆様にとっても飛躍の一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。引き続き、ご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。